

0280

25

号  
輕  
合  
金

1753

26	日本電工	日本アルミ	會社名	十三・六月 年産能力(應)	擴張計畫	原 鑽		
	(十二年末七〇〇〇) 一〇〇〇〇〇 十三年実産高 上期 二八〇〇 下期推定(四二〇〇 計 七〇〇〇	高雄工場 六〇〇〇	高雄工場 二〇〇〇 (十三・十月完成豫定) 花蓮港工場 八〇〇〇 (十五・六月) 計畫完成後 計 二〇〇〇〇 (十五・春)	高雄ビシタシ産 ボーキサイト 花蓮港南洋産 ボーキサイト	明礬石、南洋産 ボーキサイト併 用	年次 十三年 十四年 十五年 十六年	生産能力 四五〇〇 五一〇〇 六一〇〇 一五八〇〇	実産高 一五三〇 三〇〇〇 四三〇〇 七一〇〇
	三三〇〇〇 (十三・七月完成) 五〇〇〇〇 (十四・秋完成豫定) 三三〇〇〇 (未定) 計畫完成後 計 五〇〇〇〇	高雄工場 二〇〇〇 (十三・十月完成豫定) 花蓮港工場 八〇〇〇 (十五・六月) 計畫完成後 計 二〇〇〇〇 (十五・春)	高雄ビシタシ産 ボーキサイト 花蓮港南洋産 ボーキサイト	明礬石、南洋産 ボーキサイト併 用	年次 十三年 十四年 十五年 十六年	生産能力 四五〇〇 五一〇〇 六一〇〇 一五八〇〇	実産高 一五三〇 三〇〇〇 四三〇〇 七一〇〇	

アルミニウム

(單位 應)

08222

1780

26

日本電工

(十二年末7000)  
 10000  
 十三年実績高  
 上期 2800  
 下期推定 2000  
 計 1000

20000 (十三・七月完成)  
 20000 (十四・秋完成豫定)  
 20000 (未定)  
 計費完成後 計 20000

計費完成後 計 20000  
 一場 2000 (十三・十月完成豫定)  
 2000 (十四・六月)  
 上場 8000 (十五・春)

張計費

原價

高雄ビシタシ産  
 ボーキサイト  
 花連港南洋産  
 ボーキサイト  
 明礬石、南洋産  
 ボーキサイト併  
 用

四年	十五年	十六年
1000	6100	15800
000	2300	7100

アルミニウム

(單位 應)

生産能力、生産高  
 26頁、27頁  
 26頁

- 1754  
 1755

27	朝鮮窒素 アルミ	東北振興 アルミ	朝鮮理研 金 屬	日東化學	日本曹達	住友アルミ 製 錬	日滿アルミ
					二五〇〇	一五〇〇	七〇〇〇
	第一期四〇〇〇 (十四・五月操業開始豫定)	第一期三〇〇〇 (十四・五月操業開始豫定) 第二期原鑛石ヨリ一貫作業計畫中	三〇〇〇 (十六・初操業開始豫定)	アルミ十年産 五〇〇〇 (十四・四月操業開始豫定)	二五〇〇 (十二・九月完成) 三〇〇〇 (十四・末完成豫定) 計畫完成後 計 八〇〇〇	一五〇〇 (十三・末完成豫定) 三〇〇〇 (未定) 計畫完成後 計 六〇〇〇	五〇〇〇 (未定) 計畫完成後 計 一三〇〇〇
	明礬石	日滿アルミヨリ アルミナ供給	礬土頁岩	燐酸礬土	印度産ボーキサイト、ボナベ島ボーキサイト、伊豆産明礬石併用	住友化學ヨリ アルミナ供給 (朝鮮明礬石)	ギリシヤ産赤ボーキサイト、北支那皇島産礬土頁岩併用

大阪窯業		六〇〇〇 (未詳)	
国産軽金属 工業(日電系)		五〇〇〇〇 (十四・五月一部操業開始豫定)	岩手・花巻ノ原土
東洋アルミ (三井鑛山 電化系)	(認可申請中)	大網工場 一、五〇〇	南洋アルミナ(假稱)ヨリ アルミナ供給
富士アルミ (假稱) (東電、古河系)	(認可申請中)	岩淵工場 三、〇〇〇 (十五・末完成豫定)	△ ピンタシ 産 ボーキサイト

註、△ピンタシ島産ボーキサイトハ既ニ日本アルミカ原嶺トシテ約五〇千噸使用シ、今又東電、古河系會社カ使用セント計畫シツツアリ。

同嶺ハ古河鑛業カ蘭印側ト「蘭領東印度ボーキサイト採掘會社」ヲ組織シテ採掘ニ當リ、年五〇〇千噸ノ輸入權ヲ有スト稱セララルモノナリ。

## 三 原 鑛 石

十三年物動計畫ニヨルニ、アルミ地金へ輸入單價應當ニ二六二円、（低品位品ニ二〇〇円）ボーキサイトハ應當三〇円ナリ。即チボーキサイトノ應當單價ハ地金ニ比シテ僅カニ千分ノ一・三（低品位千分ノ二・五）ニスキス。獨乙カコノ點ニ留意シテボーキサイト資源ナキニ拘ラス、世界一ノアルミニウム産出国トナリタルハ注目ニ値ス。從テ例へハ前掲ピンタン島ボーキサイトノ如キハ古河ノ輸入權カ事實傳ヘラルル如クナラハ極力全額輸入ニ努メサルヘカラス。然シ国内資源（明礬石、礬土頁岩、磷酸礬土等）ノ開發ハ元ヨリ喫緊事ニテ、ソレニ對應スル技術モ亦從來以上ニ不斷ニ研磨セラレサルヘカラス。日本アルミニウム等カタタ外国産原鑛ノミニ待ツハ多少遺憾ニテ、日本電工、住友アルミニウムノ如ク国産鑛石ヲモ併用スル事必要ナリ。即チ不斷ニ、低品位ノ国内資源ニ對スル準備必要ナリ。

航空機用需要等ノ増加ハ今後益々アルミニウム品位ノ高度化ヲ要求スルコト必然ニシテ（例へハ最近陸軍ノアルミニウム規格九九・五%以上）、差當

リ増大スル需要ニ對シテハ高品位ノ地金ノ輸入不可缺ナルヘキモ、出  
來ルタケ短時日中ニ国内生産能力ノ擴張ニヨツテ之ヲボーキサイトノ  
輸入ニ振替ヘルコトハ国際收支ノ上ヨリミルモ當然必要ナリ。尙ホ日  
滿アルミカ電力不足ノタメ年産高ニ對シテ前半湯水期四割、後半期六  
割ノ生産トナルカ如ク、電力カアルミナ製鍊ニ對シテ占ムル大ナル役  
割ニ思ヒ至レハ、政府ハ「低廉豊富」ナル電力ノ供給ニ就テ充分ナル  
注意監督ヲナササルヘカラス。

註、十三・八・廿日付東日紙ハ皇軍カ山西ニボーキサイト鑛脈發見  
セル旨報シ居レリ。眞偽疑ハシキモ、北支ニ於ケル積極的探鑛ハ  
必要ナリ。

企 畫 院 案

(單位 匁)

年 次	現在能力	昭十三年	十四年	十五年	十六年
生産高	一三七八九	二二三〇〇 (二五三〇〇)	二九九〇〇	三六一〇〇	一二六四〇〇

註、( ) 内物動計畫「總供給額」

31	日本曹達	旭電化	理研金屬 (旧日滿マテ)	會社名
	≡〇〇	≡〇〇	一〇〇〇	十三・六月 年産能力(噸)
	完成後計 ≡〇〇 (十三・十月完成豫定) 六〇〇	完成後計 ≡〇〇 (十三・十一月完成豫定) 六〇〇	完成後計 一〇〇〇 (十三・十二月完成豫定) 二〇〇〇 將來 一〇〇〇〇	擴張計畫
	マグネサイト	マグネサイト	苦汁	原鑛

ニ

実産高	十三年	十四年	十五年	十六年
	一八二〇〇	二七七〇〇	三六五〇〇	一〇九〇〇〇
生産能力	三三〇〇〇	五二五〇〇	一四六五〇〇	一九八〇〇〇

一 マグネシウム

(單位 噸)

1760  
1761



0828 0827

31	日本曹達	旭電化	理研金屬 (旧日滿マテ)
	三〇〇	三〇〇	一〇〇〇
	完成後計 三〇〇 (十三・十月完成豫定) 六〇〇	完成後計 三〇〇 (十三・十一月完成豫定) 六〇〇	一〇〇〇 (十三・十二月完成豫定) 完成後計 一〇〇〇 將來一〇〇〇
	マグネサイト	マグネサイト	苦汁
			原 鑽

生産能力 多産  
26頁 ↓ 26頁  
26頁 ↓ 26頁

一年	十五年	十六年
〇〇	一四六五〇〇	一九八〇〇〇
〇〇	三六五〇〇	一〇九〇〇〇

(單位 應)

1760  
1761

日本マグネシウム (日電系)		志村工場 ≡〇〇(十三・十二月操業開始豫定)	マグネサイト
日本マグネシウム 金 属 (朝鮮窒素系)	1000	興南工場	マグネサイト
朝鮮理研金属		1000(十六・初、操業開始豫定)	マグネサイト
関東電化		澁川工場 1000(十五・一月操業開始豫定)	マグネサイト
日本アルミ		≡〇〇	北支長城粘土
電氣化学		青梅工場≡〇〇(十四・春操業開始豫定) 将来 1000	
日本マグネシア イト化学工業		現在原鑛採掘、マグネシアクリンカー、輕 燒マグネシア生産、マグネシウム生産計畫 中	マグネサイト

マグラネシウムハアルミニウムニ比シテ原料ノ點ニ於テ遙カニ惠マレタ  
 リ、即チ苦汁法ニヨルニセヨ、マグラネサイト法ニヨルニセヨ、原料極  
 メテ豊富ナリ。タタ問題ハマグラネサイト法ノ立遅レニアレト、要ハソ  
 ノ採算的困難ニアレハ綜合的經營ニヨツテ克服スルコトヲ得ヘシ。且  
 又有事ノ日ノ大規模生産ニ備ヘテマグラネサイト法ニヨル生産ヲ行ハサ  
 ルヘカラス。

国際收支改善ノタメニモ、世界的資源ヲ有スル我カマグラネシウムノ  
 増産、輸出ハ速カニ強行セラレサルヘカラス。

企 畫 院 案

(單位 噸)

年 次	現在能力	昭十三年	十四年	十五年	十六年
生産高	八一四	一、六八六	三、三〇〇	六、六五〇	一、一〇〇〇

## 滿洲国對日輸出額

(單位 噸)

年次	十三年	十四年	十五年	十六年
アルミニウム	八〇	一六〇〇	一六〇〇	二〇〇〇
マグネシウム	一	一	二〇〇	四〇〇

滿洲輕金屬株式會社撫順工場ハ本年七月操業開始、同時ニ擴張工事ニ着手セリト云フ。從テ滿洲国修正五ヶ年計畫ニヨレハ、十三年ハアルミニウム二五〇噸ノ對日輸出ヲ計上シ居ルモ、右ノ如ク推定計上セリ。マグネシウムニ関シテハ滿洲マグネシウム工場建設中ニテ、十四年操業開始ノ豫定ニテ前掲五ヶ年計畫ニヨレハ十五年度ヨリ對日輸出ヲ計畫シ居レリ。ヨツテ右ノ如ク推定計上セリ。